

需要側統計の改善について

世帯の消費変動を包括的に把握可能な指標作成の方法 (家計調査の補完・補強)の検討

平成29年10月4日
総務省統計局

消費動向指数（CTI）のミクロ動向の把握について

「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」第4回資料4より（一部変更）

家計消費指数	消費水準指数
<ul style="list-style-type: none">家計調査結果のうち毎月の購入頻度が少なく結果が安定しにくい高額消費部分を家計消費状況調査の結果で補完した結果を指数化したもの家計消費の動向をより安定的に把握することを目的	<ul style="list-style-type: none">消費支出から世帯人員及び世帯主の年齢、1か月の日数及び物価水準の変動の影響を取り除いた指数家計消費の面から世帯の生活水準をよりの確に把握することを目的

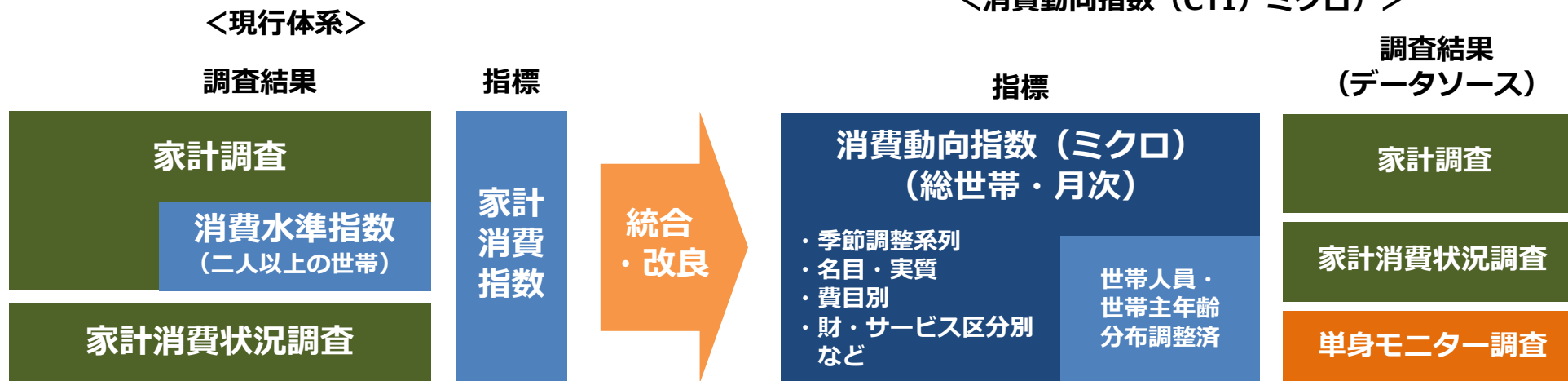
統合・改良

消費動向指数（CTI）ミクロ

統合：家計調査に家計消費状況調査を合算した家計消費指数をベースに、消費水準指数の機能を組み込み、**双方の短所を補い長所を保持**した新しい指数体系に改修

改良：家計消費状況調査に加え、**単身世帯を対象としたモニター調査を新設**し、二人以上の世帯に単身世帯を加えた**「総世帯」の消費動向を月次指数**として算出

<消費動向指数（CTI）ミクロ>



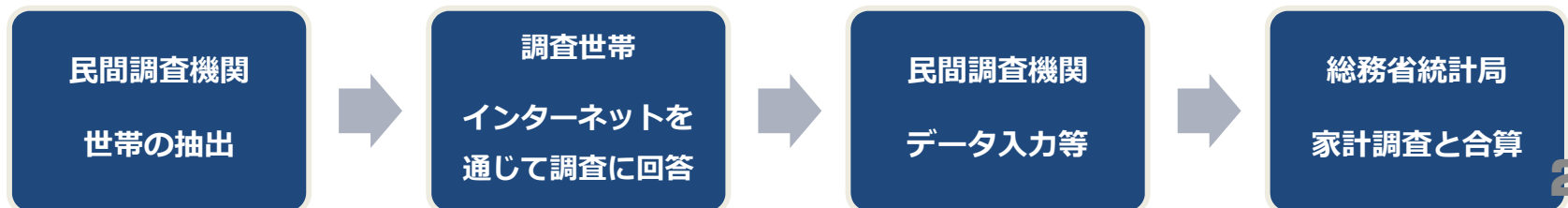
単身モニター調査の実施

「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」第4回資料4より（一部変更）

月次発表を行っている家計調査の「二人以上の世帯」の結果に、近年増加を続けている単身世帯の消費動向を加え、全ての世帯の消費動向を月次で捉えることができるようにするため、家計調査の補完・補強を目的として、平成29年8月から単身世帯を対象とした「家計消費単身モニター調査」を新たに実施。

- 調査期間 : 平成29年8月～
- 調査地域 : 全国
- 標本規模 : 2,400世帯以上
- 調査対象 : 単身世帯（民間調査機関のモニター登録者から、地域、性別、年齢階級等別に抽出）
- 調査票 : 電子調査票
- 調査方法 : オンライン回答
- 調査項目 :
 - ・ 世帯及び世帯員に関する事項
（男女の別、満年齢、就業状況、住居の所有関係等）
 - ・ 月の収入及び支出に関する事項
（口座自動振替、口座入金、現金収入・現金支出、電子マネー・カード等の支出等）
 - ・ 年間収入及び貯蓄・負債に関する事項
（勤め先収入、営業年間利益、公的年金・恩給、貯蓄現在高、負債現在高 等）

○ 調査の流れ



家計調査、家計消費状況調査、単身モニター調査の合成

「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」第4回資料4より（一部変更）

CTI（ミクロ）は下図の手順で作成。公表系列は10大費目別（名目・実質、それぞれ原数値・季節調整値）、これに加えて世帯人員・世帯主年齢分布調整済み系列（旧消費水準指数）、更に世帯類型別、財・サービス別指数を一体的に作成

